

令和元年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

令和元年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代老人福祉センター
	所在地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	老人の健康の増進、教養の向上等を図るため川西市久代老人福祉センターを設置する。
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目12番16号
指定管理業務の内容	指定管理の業務内容を明確に記入してください。 (1) 老人の生活相談に関すること。 (2) 老人の健康相談に関すること。 (3) 老人の教養の向上のための講習会、講演会等の開催に関すること。 (4) 老人のレクレーションのための支援及び老人クラブ活動の推進に関すること。 (5) 施設使用の許可、その取り消し、その他センターの使用に関すること。 (6) 施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (7) 開館時間及び休館日の変更に関すること。 (8) その他、市長が必要と認める業務に関すること。	
指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	老人福祉法や川西市の条例に従い、健康や生きがいづくりに関する講座などを開催しました。そして、20グループある趣味の会の活動支援を通じて、市内の60歳以上の高齢者を対象に健康の増進、教養の向上を図りました。また、個人利用者やグループの日程や時間調整を随時行い、施設を最大限に有効活用しました。	A	施設設置の目的に沿って、体操や囲碁など心身の健康増進、教養の向上など施設を最大限に活用できるよう対応しています。	意見なし			
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時には、施設利用と登録について詳しく説明を行いました。そして、身分証明書を提示していただき、年齢と川西市在住の確認、住所、氏名、生年月日、緊急時連絡先などを記入し登録いただきました。また、趣味の会の入会希望者には、登録後に代表者の方との調整を十分行い、安心して入会いただきました。	A	他市と隣接している地域柄、身分証で市民の確認を実施の徹底や緊急連絡先の確認など、不測の事態に備え、適切に対応しています。	意見なし			
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	市の広報誌や市協会のホームページに掲載し、案内ポスターを館内に掲示しました。また、職員が行事への参加を呼びかけを直接利用者に行い、友人などに広がり、行事の参加者増に繋げることができました。	A	市広報や市協ホームページ、掲示物の利用のほか、個別に利用者へ声掛けすることで利用者が増えました。引き続き施設利用者増に向けた取り組みをお願いします。	意見なし			
< 課題 >		新規登録者は、70歳以上が全体の7割近く、女性が8割近くあり、新規登録者は高齢化し、女性が多い状況です。今後は、60歳代や男性の新規利用者の確保が必要です。		広報やホームページのみならず、地域等との連携による周知などを検討して下さい。	意見なし			
< 改善内容 >		人気の定期講座「ピラティス」「いきいき歌声講座」を継続して開催し、多くの参加者がありました。また、趣味の会の「百歳体操」が新たに誕生し、利用者増につながりました。また、継続して内部監査が行われ、法令遵守に努めています。		ニーズの高い講座の開催などの成果で利用者数が増加しています。引き続き利用者増の取り組みを続けてください。	意見なし			
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	主な個人利用者は、スカイウエル(交流電圧電位治療器)や血圧測定の利用者です。20グループある趣味の会は、囲碁将棋やカラオケ、卓球、体操など多種多様で、老人の健康の増進、教養の向上が図られました。地域の「どんとまつり」にも施設として参加し、地域共生につなげています。	A	多様な講座を開催され、他機関と連携のもと生活相談等の場を提供や、地域活動に参加されるなど、地域共生につながるか活動にも取り組んでいます。	意見なし			
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	定期講座は人気があり、470人の参加がありました。また、地元の老人クラブ活動や総会などで部屋を活用いただき利用者数につながりました。しかし、コロナの関係で講座などは中止となり、3月7日から休館したことから、個人利用者数は昨年より減少しました。	A	施設主催の講座や講演を積極的に開催されると共に、地域の老人会の総会等場所の提供など、地域交流を実施するなど、柔軟に対応されており、工夫が見られます。コロナ禍においては、感染症予防対策をお願いします。	意見なし			
< 課題 >		地域に根づいた施設であることから、地域の高齢化に伴い利用者も高齢化が進んでいます。そのため趣味の会グループの会員数も減る傾向にあり、年間利用者数の減少が課題となっています。また、コロナの関係で3月7日から休館したことから利用者も大幅に減少しました。		感染症対策を図りつつも、趣味の会等の会員の増や施設利用者数の増を目指し、ニーズの高い講座の開催や地域との連携など検討をお願いします。	意見なし			
< 改善内容 >		評判の良かった定期講座を継続して開催し、利用者を増やす努力をしました。また、世代間交流事業として「敬老のつどい」では、幼児との交流と趣味の会の舞台発表を行っています。地域の老人クラブと南包括支援センターが行う健康事業にも部屋を提供し、利用者の増加につながりました。		グループ等の活動拠点として活用いただき、利用者増に繋がりました。児童センター併設という立地を活かし、地域住民のつながりが生まれる施設運営を目指してください。	意見なし			
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度			
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	6月19日から21日までの間に、個人利用や趣味の会等で来館された方々に無作為にアンケート調査を実施しました。	A	毎年定期的にアンケートも実施され、ニーズの把握に努めています。	意見なし			
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	B	アンケートのほとんどは「楽しくさせていただいています」「いろいろお世話していただき満足しています」等のお声をいただきました。引き続き利用者から信頼され、楽しんでいただける施設運営を行っています。また、人気のある健康に関する講座などは、継続して実施しました。	A	アンケートでは、施設に対する高い満足度が記載されるなど、良好なサービス提供体制が推察されます。	意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	平成31年度、苦情は2件ありました。1件は、洗浄付き便座を設置してほしい要望であり、年度内に設置し解決しました。もう1件は、将棋の駒の管理に関するもので、趣味の会の代表とも相談し、管理を徹底しました。苦情・相談に対しては、誠意をもって迅速、丁寧に対応し、必要に応じて市の指示に従っています。	A	要望に対して迅速に対応されるなど利用者の信頼につながる適切な対応をしています。	意見なし			
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B	日常から利用者には声掛けを行い、コミュニケーションをとることで、利用者のご意見を引き出すよう努めています。また、意見箱を設置していますが、平成31年度に投函はありませんでした。	A	利用者の声を反映させて、新たな講座を開設されるなど、適切に取り組んでいます。	意見なし			
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	地域の老人クラブ活動の事業推進のため、老人会や自治会の活動の場所を提供し、健康事業など地域活動の場所として利用していただきました。	A	講座等のみならず、地域の団体と連携するなど、地域の活動拠点としての取組みを進めています。	意見なし			
< 課題 >	自家用車での利用を希望される方がおられますが、駐車スペースは、児童センターと合わせて4台分しかなく、駐車場の確保が大きな課題です。		特にありません。		意見なし			
< 改善内容 >	地域で定期的に行われていた健康事業を、翌年から趣味の会を立ち上げ、行うことになりました。また、温水便座設置の希望があり、年度内に設置しました。		講座参加者が自ら自主グループを立ち上げられたことは、今後の地域活動の活性化に繋がります。今後も利用者の活動支援に努めてください。		意見なし			
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減			
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費については、年間を通じて職員各自が意識して節減に取り組んでいます。利用者がいない時間は、常に部屋の照明を消し冷暖房を入れないようにしています。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、退室時の消灯や空調のスイッチを切るなどの協力をお願いしています。	A	経費節減に対して職員のみならず、無理のない範囲で利用者の協力を得ながら積極的に取り組んでいます。	意見なし			
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	常に経費の節減を意識して、修理や物品購入時は、必ず相見積りを行いました。また、各種備品購入においても、近隣のホームセンターなど安価で購入できる商店を利用するようにしました。	A	経理規定に沿い、高額商品購入時の合い見積もりなど適切に対応されています。また消耗品等の購入も安価な業者に依頼するなど徹底しています。	意見なし			
< 課題 >	建物は30年以上が経過し、老朽化が進行しており、今後は修繕箇所が増加が見込まれます。安全面など、必要に応じて川西市と協議しながら改修等に取り組めます。		修繕については、適切な施設管理の中で問題点を把握し、計画的に進める必要があります。		意見なし			
< 改善内容 >	日常の清掃は、シルバー人材センターの設立趣旨に賛同し、委託していますが、通常清掃以外のワックス掛けやガラス清掃等については、本年度も継続して一般清掃会社との相見積りにより、安価な業者に委託しました。		清掃業務の委託費削減に散り組むなど、経費削減に取り組んでいます。		意見なし			
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加			
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。								
収入の増加など取組みの効果は得られたか。								
< 課題 >								
< 改善内容 >								
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど			
収支のバランスは、適切であったか。								
費用対効果を考えながら、経費の効果が効率的な執行が行われたか。								

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
収支の内容に不適切な点はなかったか。						
< 課 題 >						
< 改善内容 >						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	所長(児童センターと兼務)1人、事務員(児童センター兼務)1人の2名が配置されています。事務事業を円滑に運営するには、併設の児童センターとの連携協力が必要です。	A	併設のメリットを生かし、児童センターと協力しながら業務に取り組んでいます。	意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	社協、シルバー人材センター、文化・スポーツ振興財団の3法人合同の職員研修で、健康講座が行われ参加しました。また、市の「認知症サポーター研修」、法人本部主催の会計研修を受講し、業務に活かしました。	A	施設の特性に応じた内部研修のほか利用者対応に必要な講座に参加するなど、積極的に参加しています。	意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修繕や物品購入については、合い見積もりを取り、安価な業者を選んでいます。また、年に1回利用者アンケートを取り、サービスの質の向上を図りました。また、高齢者が利用する施設として、常に空調管理を行うとともに、夏場などは水分補給を利用者に促しました。	A	常に経費節減に努められる一方で、利用者への配慮も行われています。	意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	B	継続して土曜日の午前中は開館し、スクイウエルや血圧測定などをご利用いただきました。日頃から、利用者にお声をかけ改善に努めました。	A	経費節減のみならず、利用者の視点に立った運営が必要です。今後も利用者本位を維持しながら良好な管理運営に努めてください。	意見なし	
< 課 題 >		老人福祉センター関連の研修会は少ない状況であり、研修体系をつくる必要があります。また、事故防止や円滑な施設運営のため、児童センター職員と常に相互に連携し業務を行うことが重要です。		併設施設と連携を取りながら、サービス提供の質が低下しないよう配慮しつつ、より柔軟な人員配置に努めてください。	意見なし	
< 改善内容 >		市の認知症サポーター研修や法人本部主催の会計研修会に参加し、業務に活かしました。公共の施設として相応しい対応ができるように、老人福祉センター職員と児童センター職員が行う相互協力を継続して行っています。		施設間での相互協力を通じて、利用者満足度の維持向上に努めてください。	意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用される時に、身分証明書で利用条件に合っているか確認し、登録していただいています。また、内部監査の報告を職員で共有し、改善に努めています。	A	市の関連施設として、川西市民の確認を徹底されています。また、内部監査の報告を職員で共有するなど、適切に取り組んでいます。	意見なし	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止しています。	A	個人情報を鍵付き書庫への保管を徹底するなど、適切に取り組んでいます。	意見なし	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	転倒防止のため、廊下など動線上に障がい物を置かないよう、常に気をつけています。靴の履き替えで転倒されないよう玄関口ピーに長椅子を置いて、座って靴の履き替えを行えるようにしています。	A	子どもや高齢者などの利用者の特性に配慮し、注意喚起を行うなど、安全対策の徹底に取り組んでいます。	意見なし	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	閉館後や休日の警備は、アルロックに委託しています。火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を消防署立会いのもと行い、必要な指導を適時受けました。	A	休日夜間などの警備は専門業者に委託し、火災訓練は利用者と一緒に取り組むなど、適切な危機管理体制をとっています。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガ・体調不良)、非常災害時対応のマニュアルを作成しています。ヒヤリハットのノートも作成し全員で情報を共有しています。 また、消防訓練を年2回、利用者に協力いただき実施し、非常災害時に備えています。設備に関しては、毎月1回職員が点検しています。	A	様々な場面を想定した対応マニュアルを整備されるほか、ヒヤリハットについても職員で共有するなどリスク管理に努めています。	意見なし
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	趣味の会には、利用の手引きを配布し、平等に部屋を利用できるよう説明し理解を得ています。個人の健康器具利用は、20分で交代するよう、タイマーで電源の設定を行っています。	A	日程調整やタイマーでの健康器具対策など、利用の平等性に配慮して対応がとられています。	意見なし
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当			
< 課 題 >		気象警報発令時の休館等の対応を市と調整し、決める必要があります。		安全な施設利用の観点から、荒天時などの施設運営について検討が必要です。	意見なし
< 改善内容 >		本会から市地域福祉課に提案し、対応するようにします。		適宜市に報告し、改善内容について協議をお願いします。	意見なし
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A		A		
・評価できる内容		昨年度好評だった定期講座の「いきいき歌声講座」や「ピラティス」は継続して実施し、年間470名の参加者があり健康増進につながりました。 そして、新たに趣味の会のグループが1つ(いきいき百歳体操)誕生し、利用が増え施設も有効に活用されました。 個人利用者が利用するスカイウエルは、血流回復効果があり、健康維持のために継続して利用される方が多い状況です。 また、児童センターとの併設である特色を活かし、幼児や児童等との世代間交流行事を実施し、地域の高齢者と交流を深め生きがいづくりにつながりました。		老人福祉センターとして様々な講座などを実施し、特にニーズの高い健康講座の継続によって健康増進に繋がりました。登録グループに対しても調整など適切に対応しています。また、児童センターとの併設との特性を生かし、世代間交流に取り組みされるなど利用者から良好な評価につながっています。	意見なし
・令和元年度に改善した内容		利用者の要望により、温水洗浄便座を設置しました。		利用者の要望に迅速に対応され、評価できます。	意見なし
・令和元年度に改善したことによる効果		トイレの環境が改善されて、利用者も快適にトイレを使用いただけるようになりました。		今後も利用者の声に耳を傾け、適宜施設環境の整備をお願いします。	意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点		・趣味の会は、1グループ増えましたが、グループ数はほとんど変わらない状況です。施設周辺の地域は高齢化が進んでおり、会員の減少につながっています。 ・個人利用者のスカイウエルは、利用者が固定化しており、新規の利用者が増えていない状況です。 ・障がい者用トイレは、建築された35年前のものであり、古い便器に固定の手すり、利用される方は、ほとんど無い状況です。老人福祉センターは、一般の避難所にもなっているため、誰でも利用しやすい多目的トイレにする必要があります。		登録グループ内の人員減少や個人利用者の固定化の解消が課題です。多様な視点から利用者増への取り組みが必要となります。	意見なし
・改善方法とその時期		・翌年度にも高齢者が関心ある講座などを開催し、グループ化を進めるとともに、既存の趣味の会の会員募集をセンターとして積極的に行う必要があります。 ・交流電圧電位治療器であるスカイウエルは、健康に良いことから、新規利用者を増やすために近隣地域の方へのPRが必要です。 ・障がい者用トイレの古い便器を温水洗浄付きの便器に取り換え、跳ね上げ式の手すり、おむつ換え用の台をつけて、避難所になった場合を考え、誰でも利用しやすいトイレにする必要があります。令和3年度中に改装する必要があります。		新規利用者開拓のため、様々な手段を活用し周知に努めてください。 また、施設内の改修については計画的に市と協議していきましょう。	意見なし

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。